

製品詳細

成分・分類（製品名）	樹脂グレージング用ハードコート剤
製品ステータス	開発ステージ
製品特長	◇プラズマCVD無しでフロントガラス規格対応の耐摩耗性 Taber試験 1000回転 ΔHaze≤2% ◇水系塗料 ◇耐久性（耐候性、耐薬品性）
サステナ①	本コート剤を塗布することで、窓の樹脂化が実現 ⇒ ガラス対比で約50%の軽量化
サステナ②	水系塗料のため、塗装工程時のVOC排出量低減
コストメリット	開発品のため未定
拡販対象地域	全域
競合優位性	プラズマCVD無しの水系塗料の塗装でフロントガラスに適用可（スプレー塗装も可）
量産 and / or 検討実績	検討中



耐摩耗性試験後のサンプル



ポリカーボネート (PC) PC + 当社開発品 ΔHaze<2% ガラス ΔHaze<2%

ガラスと同等の耐摩耗性

車としての嬉しさ（提案コンセプト）

製品名：樹脂グレーシング用ハードコート剤

- ・自動車窓材として、ガラスとポリカーボネートをそれぞれ使用した場合のLCAによるCO₂排出量を算出。
- ・EV車の場合、ポリカーボネートに替えることでトータルCO₂排出量を約100kg/台削減。

■各窓材のCO₂排出量(kg/台)

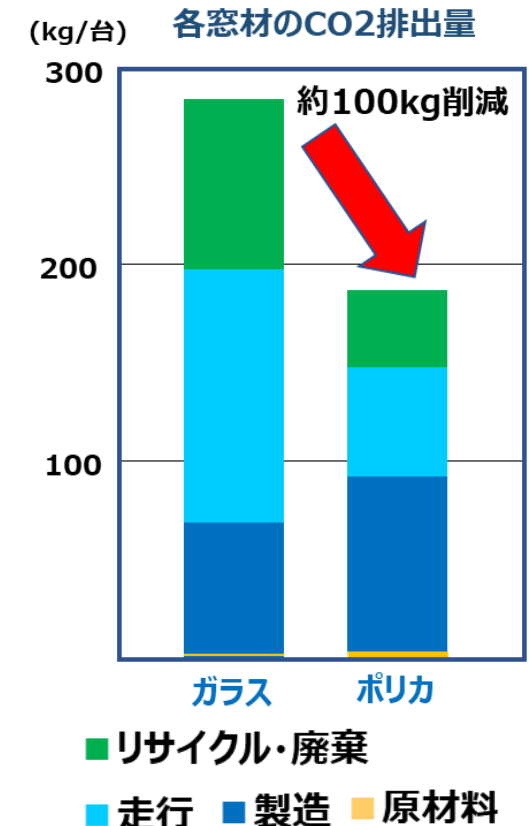


ガラス：窓材全重量38kg/台
ポリカーボネート：窓材全重量17kg/台

EV車、走行10万km想定

廃棄時の値

調査会社レポートを基に作成したものであり、保証値ではございません。



お客様の声（ユーザーレビュー：評価点）

水系塗料でフロントガラス規格を満たすことは、魅力的であり、ぜひ評価したい